

◆東海聖化交友会々長に聞く——

東海にも主が顧みを

イムマヌエル綜合伝道団  
名古屋教会牧師 竿代信和

当地にも感動の聖会——

「この地域には、確かに各教団の聖会はありません。しかし『東海聖会』と言えば、この聖会」と言えるような聖会を、ぜひ——このような若

手教職の熱意を上よりの促しと信じ、私たちが従来のセミナー・聖化大会に加えて、『東海聖会』を開催したのは、四年前のことでした。

土・日の開催ということで、どのくらい出席するだろうか、「日曜午後の集いに教会協力が得られるだろうか」などの懸念を抱きつつ、祈っていました。美しい一麦教会をほぼ埋める二〇〇名を大幅に超える参集者を目の当たりにし、「この地にもかくも多くの『さよき』を慕う民を主が備え、集めておられる」ことを見て、熱いものが込み上げてきました。

さらに昨年度は、遠州（浜松）支

部が誕生し、今春に、第二回目の聖

会が祝福のうちにもたれ、栄光を拝

しまして、感謝にたえません。

東海聖化交友会も一〇年目——  
とここで、この地区にも聖化運動

をとの本田会長の呼びかけを受けて、88年に行われた集会を契機に、東海聖化交友会が生まれ、早くも10年目を迎えました。順序が逆になりましたが、誌面をお借りして、私たちの小さき会を覚えて、お祈りや励ましを寄せて、育ててくださった全国の聖徒に、厚く御礼を申し上げます。

この聖化交友会が地味な歩みながら、今日まで導かれてきましたのは、ただ主の恵みでありますが、人的な一つの要因も考えることができます。

それは、既に天の報奨に与っておられる諸師を含む先人の尊いご奉仕が当地に積まれていた事実です。伝道

が大変困難で、宣教の谷間とさえ呼

ばれた地で、一步も退かず果敢に

労され、時に有志が集まって祈りを

重ね、靈的向上を期して聖会を開催するなどをしてこられたことを聞か

されます。こうした神の器のかつて流された汗と涙を想います。

当地にもきよめのリバイバルを願みて二つの聖句が、心に通います。ゼカリヤの幻（4章）と、エゼキエルの幻（47章）です——「だれが、その日を小さな事としてさげすんだのか」というような、まだ小さな始まりです。しかしそれが「わたしの靈による」ものであり、「神殿から流れ出る」本物であるなら、やがて当地にも「すべてのものが生かされる」、

「渡ることでできない」きよめのリバイバルが訪れることを信じ、祈り進みたく願っております。



THE 1997 ANNUAL INTERNATIONAL  
CONVENTION OF THE

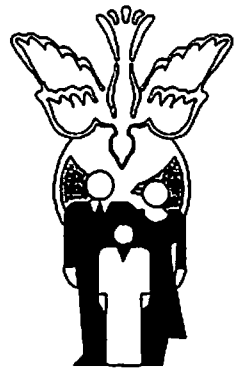


CHRISTIAN HOLINESS ASSOCIATION

"Living in the Spirit"

April 15 - 17, 1997

Hyatt Regency - Lexington, Kentucky



CHA 聖会出席

飯塚 俊雄

一九九七年度のCHA国際コンベンションは四月十五日―十七日、米ケンタッキー州、レキシントン市ハイアト・レジンスイ・ホテルで開催されました。JHAは、以前より連携の間柄であり、隔年ごとに誰かが参加してきましたが、本年、勧められて小生が出席しました。このたびのCHA聖会の主題は、「御霊によって生きる」でした。まず、JHAの会長と書記からのよろしくとのメッセージをジャック・ストーン博士（CHA会長）と実行委員長のマリーリン・ホトウル博士に伝え、心より歓迎されました。そして、JHAの会員すべてに呉々もよろしくとの先生方の伝言もあずかりました。

聖会は、右記主題のもとに、五人の説教者が五つのPで始まる内容の濃いメッセージを取り次いでいました。因みに、その五つのPとは、

- (1) The Provision of Holiness; Gods Perfect Plan
  - (2) The Purpose of Holiness; Triumph of God's will
  - (3) The Process of Holiness; The Transforming work of God
  - (4) The Practice of Holiness; Testing God's worth
  - (5) The Power of Holiness; Our Living Witness
- 特に、その中「Commit」だけはマンネリであり、「Surrender」せよ、ということばが印象的でした。過密なスケジュールでしたので、すべての集会に顔を出すことはできませんでしたが、救世軍からの出席者数や奉仕のすべてにわたって実に活動的であったことが心に残っています。
- CHA大会閉会后、アズベリ神学校に三泊し、キングホン博士（昨秋のJHA大会主講師）のご好意により、学長主催のランチオン、また諸教授との対談の時も持たせていただきました。尚、キングホン博士より皆さんに呉々もよろしくとのことでした。

●第10回東海聖化大会

(テーマ) 「きよき旗のもとに前進を」  
(お招き) 東海地区の聖化追求の交わりも10年目を迎えました。他の地区との関係で、日程が下記のように変更になっています。(来会歓迎)  
(講師) レス・ブランク博士  
(日時) 10月17日(土) (セミナー) 午後2時30分  
(聖化大会) 午後7時  
(会場) 福音センター (イムマヌエル名古屋教会)  
(主催) 東海聖化交友会

●ジョン・ウェスレーに学ぶ会  
第33回公開講座と聖会

10月16日(木)	午後	1:30~ 2:00	礼拝	滝 伍平師
		2:15~ 4:15	公開講座	レス・ブランク博士 (通訳/鎌野晋三師) 「聖潔の生活の聖霊的基礎」
	夜	6:30~ 8:30	聖会	レス・ブランク博士 (通訳/鎌野晋三師) 「聖潔の生活を築くための実践的計画」

※会場は、日本ナザレン教団大阪福音教会

# 第12回聖化大会へのお招き

## 教会の業としてのホーリネスの宣証

第12回東京大会・聖化大会実行委員長  
チャーチ・オブ・ゴッド瀬谷グレース・チャペル牧師 伊藤 昭吉



第十二回関東聖化大会に本誌読者の諸師、諸兄弟をお招きできることを嬉しく存じます。

今回の会場は昨年と同じで、日本におけるホーリネス諸派の発祥の地である神田神保町に近い「日本教育会館一ツ橋ホール」です。今大会の理念は、「聖徒にひとたび伝えられた信仰のために戦う」(ユダの手紙三節)のみことばに導かれて、「ホーリネスの旗幟を鮮明に！」とさせて頂きました。

今日ほど世においては価値観が多様化し、錯綜している時代はありません。このような風潮は巧妙に姿を変えて教会の中にも忍び込んできています。このようなボーダレスの時代であればあるほど、「ひとたび伝えられた信仰」、すなわち「ホーリネスの旗幟を鮮明」にしていくな必要を覚えるものです。

今回の主講師はアズサ・パシフィック大学に神学部を創設されて長きに亘って指導されてきたレス・C・ブランク博士です。ご専門は実践神学です。ことにチャーチ・リーダーシップの指導には定評があります。その力強い信仰と温かい包容力で人々を励まし、建て上げてこられた賜物豊かな器です。

邦人講師は、東京聖書学院々長である小林和夫師がセミナー

で講じて下さいます。小林師の今回の演題は、「ウエスレー神学における四つの要素」です。日本における聖潔派の論客の一人としてその一陣を担っておられる先生からウエスレー神学が現代にフィットする形で論じられることに期待が寄せられております。

毎回祝福されている女性大会の講師は、昨年に続いて村上宣道師が担当されます。そしてレス・ブランク博士のご子息であるブライアン・ブランク師が「信仰の継承と家庭生活の中で『聖潔』と題して証をされます。大いに期待できる聖化大会になると確信しております。

私は毎年開催される聖化大会が、一年に一回打ち上げられる花火のように終わらせてはならないと信じています。「この川が入る所では、すべてのものが生きたる」(エゼキエル47・9)とあるように、この聖化大会に出席されて恵みを受けた諸師、諸兄弟の方々がそれぞれの教会に帰り、恵みの川の奔流となるように祈っております。ホーリネスの宣証が教会の業として枝々の川にまで流れ行き、人々を真に生かすものであるように。

今回の聖化大会に多くの同信の諸師、諸兄弟が参加されるようにお祈りしてやみません。

### 主講師プロフィール

#### レス・C・ブランク博士



先生は、その力強い信仰と包容力で人を励まし、建て上げ、何事かを残さずにはおられない不思議な賜物を持ったお方です。

アズサ・パシフィック大学に神学部を創設され、神学部長として、その土台を築き、本年から名誉神学部長としての名称を与えられ、ご専門であるチャーチ・リーダーシップと実践神学の教授として専念しておられます。ゴードン神学校 (G.D.S.) で学ばれ、アズサ・パシフィック大学では社会学を修めたあと、クレアモント大学院で、宗教教育を専攻され、M.A., Ph.D. を取得されました。その後、大学に残って研鑽を積まれた学究でもあります。若き日より青少年伝道に重荷を持ち、「青年をキリストへ」の運動に参加し、青少年問題に造詣が深く、多くの教師たちを指導して来られました。アロー・ハイウェイ・ウエイ・ウエスレアン教会での牧会も経験され、青少年教育を単なる常識にとどまらず、実践を通して身につけさせようとする牧会的教育者です。このように、先生は机上の人ではなく、21世紀を目指す現代の教会が抱えている問題に果敢に取り組み発言して来られました。先生は各地での聖会、研修会での超多忙な日程の中を来日されます。ジョアンナ夫人との間に二人のお子さんがおり、現在体調を崩しておられる夫人の代わりに、若手ながら力のある説教者として知られるご子息、ブライアン牧師が同行しています。

### 新刊書籍発行

今秋の聖化大会を期して、  
ウィリアム・ロー著の

## 「厳肅なる召命」

が発刊予定。

(福音文書刊行会より)



前号につづき、さる3月10日(月)に開催された全国評議員会での各地の活動報告を2回目として掲載します(但し、一部分のみ)。

地域だより

東海聖化交友会

I 今までの歩み

A 主要な出来事

◎88年10月 聖化大会を、本田弘慈全国会長の呼びかけにより開催—これを第一回として東海聖化交友会を発足/後に規則採用  
◎89年10月 この年から、関東・関西と連動し、同じ講師を迎えてセミナー・大会開催(両地域の間の木曜を原則として「名古屋一交」と福音センターを交互に使用)  
◎94年10月 日の二日間に開催、東海聖会と称す  
◎95年6月 年2回開催に踏み切り、6月は(東海聖会)として土・日に(名古屋一交)として従来の形で「聖化セミナー大会」として(福音センターで)開催

B 回顧

◎96年1月 遠州支部発足、第1回聖会

1 主の憐みと諸師の温かい励まし・お祈りに支えられ、10年目を迎えるに至り感謝している。  
2 94年から土日開催の実施、95年から6月と10月の年2度開催への移行とも、大きな変更だったが、主の恵みにより内実・可視的両面で祝福を蒙っており感謝にたえない。またその結果、財的にも祝福を蒙り、EPAの新刊も、聖実な売れ行きを示すに至っている。  
3 米会者中に、若い層が少なくないこと、若手の教職者が参加し種々の奉仕に当たっていることなど頼もしく、感謝なことである。

C

会員状況

4 遠州・浜松地域の4教会(3教団)の遠州支部が96年に誕生、聖実な祝福を受けている。  
◎遠州浜松・愛知県・岐阜県・三重県の約40教会を、連絡対象としている(ホーリネス的背景・伝統・系統にあると思われる教会)。そのうち20〜25教会が積極的消極的反応あり。  
◎会員加盟は、教職者個人でなく、教会単位としている(転任があっても継続を願って)。

ジョン・ウエスレーに学ぶ会

一、一九九六年度 事業報告、会計決算報告  
①集會報告

開会礼拝	一九九六年五月二四日(金)	第三〇回 大会
公開講座	長内和毅師	四二名
聖会	藤本 満師	一四四名
会場	小山恒雄師	九四名
	ナザレン大阪桃谷教会	

開会礼拝	一九九六年十月二五日(金)	第三一回 大会
公開講座	斎藤 豆師	五八名
聖会	キンギン師	八七名
会場	キンギン師	一〇七名
	ナザレン大阪桃谷教会	

②第16回総会報告

・日時 一九九六年五月二十四日(午後一時四十五分)  
・会場 ナザレン大阪桃谷教会  
・出席 四二名(オブザーバーを含む)  
・承認事項  
・「一九九五年度活動報告」、「一九九五年度決算報告」、「一九九六年度活動計画」、「一九九六年度会計予算」。

二、一九九七年度 活動計画、予算

開会礼拝	一九九七年五月二三日(金)	第三二回 大会
公開講座	小 平 照 夫 師	
聖会	竿 代 信 和 師	
会場	桃谷ナザレン教会	
備考	第一七回 総会	

(※第33回は別表の通り。)

九州聖化交友会

一、前年度(一九九六年度) 事業概要  
(1) 五月二十七日 役員会  
出席者 九名

主要議題 第七回 九州聖化大会準備  
大会の講師及びプログラムの決定  
講師・横山義孝師及び黒木安信師  
(2) 十一月六〜七日 第六回 九州聖化交友会大会  
会場 日本ナザレン教団 熊本教会  
プログラム  
六日(夜) 聖 会 黒木 安信師  
七日(午前) 婦人大会 黒木 安信師  
(昼食時) 教職者懇談会  
(午後) セミナー 横山 義孝師  
(夜) 聖 会 横山 義孝師

第8回九州聖化大会

会期日 十一月十二日(休)〜十三日(休)  
会場 日本ナザレン教団 熊本教会  
講師 本田弘慈師、藤本栄造師

総務リポート

▽先日発行いたしました聖化第23号につづいて、第24号を皆様のお手元にお届けすることができ、嬉しく思っています。格別に今秋、全国各地で開催される聖化大会の祝福をお祈り申し上げます。  
(係)